機密性2情報

# 第１１回トラック輸送における取引環境・労働時間改善山口県地方協議会議事録（概要）

## １．日　時

平成３０年１２月２１日（金）１３時３０分～１５時３０分

## ２．場　所

山口県トラック協会研修会館　２階会議室

## ３．出席者

＜委　員＞

| | |
|---|---|
| 末永　久大（座長） | 弁護士法人末永法律事務所　弁護士 |
| 吉田　昌裕 | 山口県交通運輸産業労働組合協議会　事務局長 |
| 河向　英利 | 山口県商工会議所連合会　常務理事 |
| 廻本　　学 | 全国農業協同組合連合会　山口県本部営農推進部　部長 |
| 山本　　彰 | 積水ハウス株式会社　山口工場製造部　物流グループ長 |
| 喜多村　誠 | 防府通運株式会社　代表取締役社長 |
| 伊達　明彦 | 岩国通運株式会社　取締役会長 |
| 河崎　静生 | 一般社団法人山口県トラック協会　会長 |
| 髙橋　則彦 | 一般社団法人山口県トラック協会　専務理事 |
| 伊作　城青 | 山口労働局労働基準部長 |
| 村上　弘人（代理出席） | 中国運輸局自動車交通部長 |
| 藤原　裕宜 | 山口運輸支局長 |

（12 名）

＜国土交通省業務受託事業者＞

| | |
|---|---|
| 神山　裕之 | 株式会社野村総合研究所社会ｼｽﾃﾑｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ部　上級ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ |

（1 名）

＜業務委託事業者＞

| | |
|---|---|
| 吉富　世里子 | 株式会社富士通総研　ﾋﾞｼﾞﾈｽｻｲｴﾝｽﾁｰﾌｸﾞﾙｰﾌﾟﾁｰﾌｼﾆｱｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ |
| 上野　伸一 | 株式会社富士通総研　ﾋﾞｼﾞﾈｽｻｲｴﾝｽﾁｰﾌｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞﾝｸﾞｼﾆｱｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ |

（2 名）

## ４．議　事

【議題１】第９回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会の概要
　　資料１－１「第９回中央協議会の概要」

【議題２】平成３０年度コンサルティング事業の進捗について
　　資料２「平成３０年度コンサルティング事業について」

【議題３】今後のトラック輸送おける取引環境・労働時間改善山口県協議会について
　　資料３「新たなロードマップについて」

【議題４】その他
　　参考資料１「平成３０年労災事故が多発しています！」
　　参考資料２「運輸関係雇用情報セミナー　in 山口」
　　参考資料３「標準貨物自動車運送約款の改正に係る手続き状況」
　　参考資料４「貨物自動車運送事業法の改正の概要」

■質疑応答

議題１について

（末永座長）

◯議題１について、意見をお願いします。

（喜多村委員）

◯労働力が少なく、働き方改革が進められていく中で、非常な過渡期であり苦労されている方も多いいと感じている。首都圏と地方では、事情もあるのでしょうが、少し状況が違っている中ではありますが、長時間労働を是正して、働き方改革を進めていくことは大事なことだと思っている。

しかしながら、運送事業者だけでは解決できない問題がたくさんあるので、全体の中で解決していく必要があるところですが、荷主側でも人手不足は発生している状況であり、またそれにより、しわ寄せが川下である運送事業者に来ているので、荷主共々で解決していかなければいけない問題ではないか。

　こういった協議会などを通じて、運賃の問題など、改善はされつつあるが、まだ労務費をめぐっては賃金の上昇など色々な要因があり、我々が求める内容を理解いただくには、もう少し時間がかかるのではないか、との感想を持っている。

（末長座長）

〇少し話が広がるが、外国人労働者について、今回の改正では運転手は解禁となっていないようであるが、仮に外国人の受入が可能となる場合、業界としてはどのように捉えているか。

（伊達委員）

〇工場の中の作業員などでは、対応も可能であるが、安全という点を考慮すると、簡単な指示で可能な作業であれば良いが、（運転や危険業務に関しては）細かな指示の伝達や安全への十分な理解が進まなければ難しいのではないか。

議題２について

（末永座長）

◯実際にこれから事業を進めていく中で、このパレット代のうち、いくら助成があるのか。

（富士通総研　末冨チーフ）

◯これから申請とはなるが、全額助成がある予定。

（末永座長）

◯実証実験ではなく、実際に運用していく場合には助成はあるのか。

（事務局（山口運輸支局　遠北））

◯実際に本運用になった場合には、助成は無い。金額的には、今回は２週間の短期間であるので、少し割高ではあるが、これよりは安価となると思われる。

（末永座長）

〇9 時間の休息時間はきちんと取れているのか。どこで休むのか。

（富士通総研　末冨チーフ）
◯休憩時間はきちんと取れている。コンビニやサービスエリアなどで休憩している。

（末永座長）
◯レポートを見ると、運転手さんががんばってるように思えるが、実際にどのような内容か。

（事務局（山口運輸支局　遠北））
◯印象としては、加工食品であり、積み込む品の種類がたくさんあるので、それぞれの種類を区別して、手摘みでバラで積み込むことに時間を要している。

（末長座長）
〇農業組合の立場として意見はあるか。

（廻本委員）
〇Ｐ１５について、等価交換とあるが、キューソー流通へ持って行ったパレットと同数のパレットがそのまま回収出来るものであるのか。

（富士通総研　吉冨チーフ）
〇システムの中に入っている場合、ＪＰＲ（パレットレンタル会社）が直接回収に伺うことになっており、実験中に使用したパレットと同数のパレットを回収する仕組みとなっている。
（※シマヤより運んだパレットをそのまま回収ではなく、同じ枚数のパレットを回収する仕組み）

（末永座長）
◯全体的な効率化としては、帰り荷の確保も必要かと思うが、確保されているのか。

（富士通総研　吉冨チーフ）
◯原材料を積み込む場合や他社の荷物があると聞いている。

（喜多村委員）
〇作業環境の効率化に向けた取り組みとしては大変良いと感じている。これからの運送には車上渡しの契約を取り入れていくことも必要ではないか。変えていかなければ変化しない。運転だけならドライバーも安心だが、各種商品を扱うには相応の経験も必要となり、これまでサービス的に行っていたが、難しいな対応が必要な場合、敬遠されるケースも出てきており、運送が出来ないことも生じてくる。荷主側としてもそうなると困ることになるので、双方で真剣に考えていくことが必要となってくる。

（伊達委員）
◯（フォークリフトの）免許を持っているのであれば良いが、無いと対応できないことになる。車上受け車上渡しの契約であれば、免許の有無に関わらず運送を受けることが出来る。荷主の中には、荷によっては手積みを希望される場合もあるが、多くの社員がいなければ対応が難しい。

（末永座長）
◯パレットの活用や荷卸しの簡素化について、運転のプロパーの立場からはどう捉えるか。

（吉田委員）
〇運賃の話まで戻るが、二地点間の輸送の対価が運賃であり、荷積みなどは付帯業務となるので、分けて収受することになる。積み込みの際には、フォークリフトの免許を求められてはいるのだろうが、両方を備えた運転手はなかなか多くないのが現状。

（村上委員）
〇コンサルティング事業を進めていく中で、効率化の手法として荷扱い時間の短縮に目を向けて、パレットでの対応を行うこととなったものと理解。ドライバー不足の中、荷扱いの時間を実運送に回して、如何に車を効率的に動かせるかが観点となるのではないか。昨今、拡大解釈をされて、ついでにやってもらうのがサービスとの風潮が商習慣にあるが、発生したコストについて、本来はどこが負担していくのか、トラックドライバーの拘束時間が長い、給料が低い、そのため人が減る状況の中、どのように生産性を向上させていくかが、働き方改革ではないかと考えている。
　事例として、大坂での取引環境改善協議会の事案であるが、段ボール輸送のパレット積み替えの際に、底板を敷いて一度に積み替えることで効率化を図ったものがある。シマヤさんの加工品も比較的重量が軽いのではないかと思うが、上手く活用できるかもしれないので、参考としてもらいたい。

（吉田委員）
〇この運行では、高速道路は使っていないとの説明であったが、高速道路を利用することによって、拘束時間の短縮を図ることは検討していないのか。

（富士通総研　吉冨チーフ）
◯着荷主側の受入時間が決まっており、現状でもかなり伸ばしている中で時間の変更が難しい。高速道路を利用して運行時間を短縮しても、受入時間にはまらず、荷待ちが発生する状況となる。

（末永座長）
◯運転者リレーというか、中継地点で人が入れ替わって運送を行うようなことはできないのか。

（富士通総研　吉冨チーフ）
◯中継輸送の場合、点呼の実施場所をどこでするか、という問題がある。

（伊達委員）
◯中継輸送の場合、点呼実施場所も含めしっかりとした拠点が必要であり、パートナーを組む相手も良く見極めないといけない。また、帰り荷の確保も重要。

（喜多村委員）
〇効率的な運行のために、発荷主、着荷主、運送事業者、誰が手間暇を担うのか、誰がコストを負うのかを協議する必要がある。深夜の受入は確かに大変だが、そのために高速を利用することができない弊害があるのであれば、重要視するものは何かを見ていかなければ、将来的に今の物流が成立しているかも疑問となる。手間とコストの負担者を明確にしないことには、決していい方向には進まないだろう。

議題３について

※質疑なし。